

# 磐城時報

日刊 三夕  
編輯 石城郡平町 阿田弘成  
印刷 石城郡平町 阿田弘成  
發行 石城郡平町 阿田弘成  
電話 石城郡平町 阿田弘成  
郵便 石城郡平町 阿田弘成  
定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
廣告 第一版 一角 第二版 八分 第三版 七分  
電話 石城郡平町 阿田弘成

## 軍人分會の内紛 圓滿に妥協成立

### 今夕藤田分會長宅で幹部會

平在郷軍人分會海軍班は今春以來分離獨立を計劃し紛擾を續けて来たが、去る九月二日福島聯隊區黒岩司令官が双方の幹部を呼び懇談を遂げた結果規約により海軍班は獨立し得ぬ事が判つたので圓滿に妥協し奮に復する事を聲明十三日午後六時から藤田分會長宅に兩者の幹部が會合し將來の事務打合せをなす事になった。

## 町有地を公賣

### 二十六日入札

平町では曩に町會で決議しており町有地を急ぎ競賣する事になり二十六日午後一時町役場に入札する事になったが、入札保証金は入札價格の百分の五である。平町極細小路十八番の一(湯殿山下)原野實測面積百五十九坪八合  
▲田町九番 宅地百三十六坪八合(舊平陽校跡)  
▲三町目六十八番(丸はん商店前)十五坪  
▲十五町目十三番の一(火見橋)田四十七坪一合四勺  
▲同十三番の九 四十八坪

## 神谷鎌田青年獅子舞奉納

神谷村大字鎌田青年團では縣社飯野八幡神社祭典に際し十四日獅子舞を奉納する。

## 石城郡内で選ばれた模範校の施設經營

### 平窪、泉、江名の三校

縣では實業教育の振興を計るため昨年縣下小學校及び實業學校の學習成績共進會を開き参加五校四校のうち優良校二十四校を選び模範校として推薦したが郡下では平窪小學校、泉農業公民學校、江名實業公民學校の三校が選ばれた。右三校の主なる施設は左の如くである。  
▲平窪小學校 一、小學校農業教育の本旨と状況に鑑み逐年實習設備の充實を計り圃場を農民道の道場とし斯教育の眞價を發揮す。二、實習地のみならず校地全体の經營に最善をつくす。三、生徒技能の啓發につとめ蔬菜の栽培、自給肥料の増加、馬糞、竹細工、養蠶工等は縣下に範を示せり。  
▲泉農業公民學校 一、設備の擴充に努め耕種、養畜、加工販賣、記帳等實習全般に亘り適切なる綜合的經營をなす。二、農場收益百五十五圓に及び勤勞を愛好し經營を合理化する校風年と共に助成さる。  
▲江名實業公民學校 一、農業水産及家事裁縫の専任教室を設置し實習教育の徹底を計る。二、水産加工實習の經營よろしきを得て製品の聲價年と共に高く地方水産加工を振作しつゝあり。

## 刑餘者を保護せよ

### けい免囚保護デーに 平自營會で宣傳

今十三日の免囚保護デーに財團年同様に比し一割の増である。法人平自營會及、佛教善華會では「釋放者に職を與へ暖かい手で保護せよ」との意味のピラ、ポスターを平町の内外に配布し趣旨の宣傳につとめた。尙平自營會は年々約五十名づつ免囚に對し就職斡旋につとめてゐるが明治四十三年創設以來今日まで同會の恩恵に浴したるの二千名を突破してゐるといふ。

## 奉仕して表彰

### 大浦 村大字長友部落民は今春以來大字長友地内の縣道改修事に奉仕したので長友區長、村會議員等は縣から表彰された。

## 驛長歡送迎會

### 四倉 驛長二階堂氏は瀨峰驛長に榮轉後任として仙臺運輸事務所より館長着任したが、十二日午後六時より柏屋で歡送迎會を催した。出席者百余名であつた。

## 大浦消防

### 河川工事に従事 仁井田川河川改修工事は工費六十五萬圓で改修される筈である。大浦村大字堀木地内の土地買収に行惱んでゐるが買収決定の分から工事に着手する事になった。右工事に大浦消防組員一同は制服調製費を得るため工事に使役される事になった。

## 五十圓を拾つて 神社境内に隠匿

### 尺八吹き捕はる

當時住所不定大沼郡尾岐村大字西本村生れ旅藝人星喜幸(三三)は十二日午後九時半頃植田町木町通りで尺八を吹き流し中同町大字金細赤津留吉が遺失した現金五十圓八十三錢在中の財布を拾得し届け出す八幡神社境内に埋めておいた事發覺同夜の中に捕はれた。

## 赤井嶽例祭

### 石城郡 平町 赤井嶽例祭は初秋葦から晩秋露まで取り引きを繼續する事になつたが十二日取引は五十六貫最高三十八圓、最低三十四圓八十錢平均三十六圓九十錢であつた。

## 諸根樟一の新著

### 「結城父子大勤王史」 地方に於ける文化史研究家として「磐城文化史」「石城郡政治史」等を公けに著した諸根樟一氏は昨年夏來白河城主結城宗廣父子の勤王史を執筆中であつたが此程漸やく脱稿し去る十日東京櫻園書院から「結城宗廣父子大勤王史」として出版された。結城宗廣は今より六百年前南北朝の亂時代、名和、新田、北畠と共に大忠臣として併せ稱された大勤王家であるが、宗廣の傳記は未だ世になく従つてその名も楠、北畠の如く天下に知られてゐないのを遺憾として特に白河城主として本縣にゆかりのあつた宗廣のために諸根氏が苦心して史料を蒐集しこの著を完成したものである。勿來校に鑑樓。

## 品澤の藝妓雲がくれ

### 平町 平町田町藝妓屋品澤事品澤アキ方抱藝妓の子事田島ハマ子(十九)半玉蝶々事柳澤てるよ(十六)の兩名は十二日客座敷に行つたまま戻らぬので逃走したものと懸ひ各方面を搜索したが十三日午前十時に至り馴染客である某方に居る事が判り連れ戻したが、最近藝妓の逃走が流行するの一時は大騒ぎを演じた。

## 横山署長静養

### 平警 警察長横山宗延警部は七日間の休暇を得たので十二日から勿來町大字白米鑛泉の湯事坂本方に滞在である。

## 按摩を毆る

### 平町 平町南町飲食店浪花亭事藤澤リヨ長男義夫(二二)は十二日午後十時半頃同町内で泥酔の上南町飲食店弓屋前で通行中の平町長橋町木賃宿小島屋止宿警戒訓

## 亂暴な商業卒業生

### 平町 盲院生徒花一好(二四)を毆打したので平署に檢束された。藤澤義男は平商業學校卒業生で不良青年として平署から脱走して来たものであるが、同夜の酒に酔つて好い氣持ちで歩

## 平町人事

▲出生 相馬郡大野村石上、平町柳町早川庄喜二女スミ子。  
▲婚嫁 臺灣臺南州臺南市白金町三丁目八九盆田清秀(二五)平町三丁目一六榎正子(二二)。  
▲古銀治町十四小和田三郎(三五)柳町九山崎喜和子(十八)。  
▲死亡 新川町三三山森鉄吉(七八)研町十九朝比奈ハツ(七二)杉平二九北海道勇排那厚真村小谷繁子(三九)。

### △△△△△ 金塊引揚株

(一) 皆川新一(寄)

潜水王片岡弓八の株式會社深海工業所は科學的潜水作業訓練の爲め本年二月より千葉縣白濱沖に沈没してゐる大平洋汽船會社米汽船タコマ號の鐵板電氣切斷に當りその成功を見たるに確信を得目下長崎縣對馬比多勝に根據をおき、長崎縣廳より一萬噸に依り爆薬物を使用して一萬噸級の巡洋戰艦にしてバルチック艦隊の會計艦として二千五百萬金留(對米爲替の關係にて時價一圓)の金貨を積載して比田勝沖合に沈んでゐるナヒモフ號の金貨引揚作業に専心活躍してゐるといふ。

片岡潜水王が萬全の策を立て英國及び伊太利より輸入した最新最優秀の潜水機によりこの國家的大事業を身命を賭して成功させようといふのである。その意氣の前には鬼神もおそれるなすほどで、玄海如何に波荒くとも必ずや五十尋の深海から眩ゆきばかりの黄金色の金貨金塊一億圓を引揚げすにはおかげであらう目下問題なしに經濟國難の狀に當り拾圓の引揚証券が大枚壹千圓の配當となつてころがりこんでくるのも遠い將來の事ではあるまい。

### 貸家案内

○長橋町十二階建五間水道付  
○南町五一、二階建三間  
(以上五丁目自釜屋商店)  
○平町田町野崎自動車部跡(賣却も御相談に應ず)家主平藤前野崎喜八郎  
○田町マルカ書店跡  
家主加藤正保

### 求職

給仕  
○立町五五アサ次男草野光男(十五)高卒  
○湯本町榮田三ミチヨ長男佐川武芳(十七)高卒

石炭  
平驛前  
阿部石炭店  
電話三七番

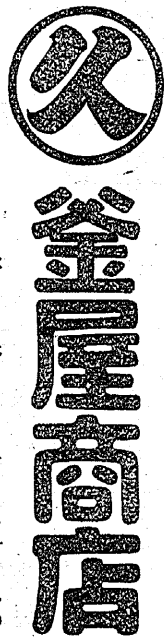


電話三七番

### 店員大募集

裁縫師 數名  
外交員 數名  
見習者 數名

佐川洋服店  
電話四一八



和洋銅鐵金物問屋

諸橋久太郎  
電話九九番

吸入用酸素 純度 99%

体温器  
寒暖計

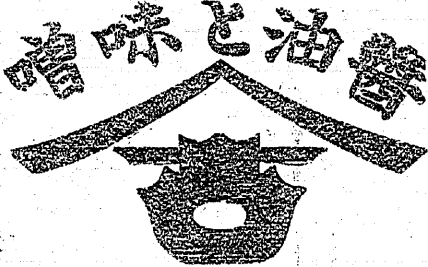
關内藥局  
電話四〇番

### 廣告

每日診療ニ從事ス

內臟外科 醫學士 内木宗八  
整形外科  
泌尿器科  
昭和七年七月

木村病院  
電話一六四番



山崎合名會社

明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

胃腸病加答兒の妙藥

健胃 ビスミット散

効能  
●時候あたり●くだり腹●ねびはら●水あたり●食しやう●酒あたり●くだりはら●せんきすはくくだりはら●其他しよりはら●一切

調劑本舗 小野屋藥店  
電話百四十四番

吉田眼科病院  
電話六八番

### 專門 內科 一般

內科ハ何デモ診療致マス  
呼吸器病バカリデハアリマセン

川井内科診療所  
醫學士 川井重子

醫學士 川井安子

縣社飯野八幡神社祭典  
奉納 立華、生花陳列

九月十四日、十五日兩日  
平町田町 松月堂向ひ

主催 岡田華悅社中

外科 專門  
花柳病科

木村外科醫院  
電話三〇九番

室內裝飾設計請負

本丸ほん  
電話一八二番